



http://www.shinshiyou.com

〒221-0055 横浜市神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス509 アネックス5F
TEL. 045 (440) 3210 FAX. 045 (440) 3209

発行元/公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会 発行人/会長 木元 茂 編集人/神私幼総務部(広報室) 発行/年3回 発行部数/1800部

令和5年度事業予定表

黒字→県連合会行事 赤字→全日私幼連 緑字→県等行事(予定表は8月29日現在確定のものを掲載)

4月 April

- 5日(水) 振興部会/広報室会
7日(金) 正・副会長会
10日(月) 認定こども園委員会
12日(水) 全県大会実行委員会/協会会長/運営委員会
18日(火) 収支改善特別委員会
20日(木) 研修事業部・研究部会
26日(水) 正・副会長会
27日(木) 関東地区会・神奈川地区会 団体長会・理事会(定時総会)
28日(金) 決算監事監査 全日私幼連 常任理事会

5月 May

- 1日(月) 収支改善特別委員会
8日(月) 正・副会長会、収支改善特別委員会 合同会議
10日(水) 正・副会長会/運営委員会/理事会
12日(金) 全日私幼連 団体長会・理事会合同会議
22日(月) 研究特別委員会A部会/広報室会
23日(火) 新規採用教員研修会/経営管理部会
24日(水) 全日私幼連 総会
29日(月) 正・副会長会/総会 神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 監事監査

6月 June

- 1日(木) 研修事業部・研究部会/正・副会長会
2日(金) 広報室会
7日(水) 全県大会実行委員会/運営委員会
9日(金) 中堅教諭対象講習会
16日(金) 全日私幼連 常任理事会
19日(月) 研究特別委員会A部会 神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 監事監査
21日(水) 教育課程等神奈川県研究協議会運営委員会
27日(火) 収支改善特別委員会
29日(木) 神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 委員総会
30日(金) 若手後継者のための保育勉強会

7月 July

- 3日(月) 研修事業部・研究部会/認定こども園委員会 全日私幼連 都道府県政策担当部会会議
4日(火) 研究特別委員会B部会 全日私幼連 認定こども園全国研修会
5日(水) 102条園委員会
6日(木) 新規採用教員研修会
7日(金) 中堅教諭対象講習会
10日(月) 正・副会長会
12日(水) 全県大会実行委員会/運営委員会
19日(水) 収支改善特別委員会
25日(火) 幼稚園教育課程等神奈川県研究協議会
28日(金) キャリアアップ研修

8月 August

- 1日(火) 若手後継者のための保育勉強会
3日(木) 新規採用教員研修会
8日(火) 神奈川県私立幼稚園教育研究全県大会
9日(水) 関東地区会・神奈川地区会 団体長会・理事会
9日(水)~10日(木) 関東地区教員研修群馬大会
18日(金)~19日(土) 全日機構 幼児教育実践学会
22日(火) キャリアアップ研修
24日(木) 広報室会
25日(金) 全県幼稚園教育課程研修講座
28日(月) 保育技術協議会
29日(火) キャリアアップ研修

9月 September

- 1日(金) 正・副会長会 神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 常任委員会
4日(月) 中堅教諭対象講習会/収支改善特別委員会
6日(水) 研修事業部・研究部会
8日(金) 研究特別委員会B部会
11日(月) 研究特別委員会A部会
14日(木) 協会会長/運営委員会
22日(金) 関東地区会・神奈川地区会 団体長会・理事会 就学前教育相談コーディネーターフォローアップ研修

10月 October

- 3日(火) 研修事業部・研究部会
4日(水) 研究特別委員会B部会 園長等運営管理協議会
11日(水) 正・副会長、部・室・委員長等会/運営委員会
17日(火) 資質向上セミナー(乳児保育セミナー)
18日(水) 新規採用教員研修会
23日(月) 幼・保合同研修講座
23日(月)~24日(火) 全日私幼連 設置者・園長全国研修大会(山形県)

11月 November

- 8日(水) 正・副会長会/運営委員会
9日(木)~10日(金) 関東地区代表者協議会 千葉大会
13日(月) 教育功労者表彰表彰式
14日(火) 研究特別委員会A部会 神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 研修大会
15日(水) 資質向上セミナー(乳児保育セミナー)
24日(金) 研究特別委員会B部会
28日(火) 研修事業部・研究部会

12月 December

- 6日(水) 正・副会長会/運営委員会
8日(金) 資質向上セミナー(乳児保育セミナー)
15日(金) 研究特別委員会B部会
18日(月) 幼・保・こ・小連携研修講座

1月 January

- 11日(木) 正・副会長会/運営委員会
17日(水) 教育研究大会(川崎)
20日(土) 教育研究大会(横浜)
22日(月) 研究特別委員会A部会
26日(金) 研究特別委員会B部会
30日(火) 研修事業部・研究部会

2月 February

- 1日(木) 新規採用教員等研修運営協議会
7日(水) 正・副会長会/運営委員会
15日(木) 新規採用教員研修会
22日(木) 若手後継者のための保育勉強会
28日(水) 研修事業部・研究部会

3月 March

- 6日(水) 正・副会長会/運営委員会/理事会

INDEX

- 2025年は幼児教育・保育分野の大転換の年
●(公社)神奈川県私立幼稚園連合会 会長 木元 茂
神奈川県福祉子どもみらい局より
研修事業部・研究部活動報告
研修事業部・研究部の今後と幼保こ小連携研修講座
研修会報告
第63回 神奈川県私立幼稚園教育研究全県大会
キャリアアップ研修会報告
リーダーシップとチームマネジメント

- 会長・副会長のご紹介
認定こども園 はらのご原幼稚園/綾南幼稚園
令和6年度予算要望
經常費補助金・個別項目の増額を目指して
令和5年度 神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 委員総会 開催報告
就職相談会・就職フェアのご報告
ケンタガーデン®/教育相談/法律相談
Pride of KANAGAWA /新規加盟園情報/新規賛助会員

研修事業部・研究部の今後と 幼保こ小連携研修講座

研修事業部次長 橋本元生

「幼保こ小連携とは：幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の連携のこと」

■研修事業部・研究部の今後

例年通りなのかもしれませんが、今夏も体に堪える酷暑の中、夏休み中も幼稚園の預かり保育やこども園の保育が行われました。担当された教職員の先生方はお疲れ様でした。2学期が始まってもしばらくは暑さが堪えませんが、神奈川県下の子どもの育ちと学びのため、県連加盟の私立幼稚園・こども園の教職員一同、一丸となって頑張っていきたいと思っています。

子どもたちの育ちと学びを保障していくには、私たち教職員の学びは必須になります。そのために、県連の研修事業部・研究部は、各地区協会が行う研究・研修会を補完し、特別研究委員会や各研修会等を開催することで、神奈川県内の地区に所属していても教職員への学びを提供し、保障することを目的としています。

昨今、教員免許状更新講習制度が廃止されたり、施設型給付幼稚園や認定こども園では研修受講を要する処遇改善制度が始まり、今年度からは行政による研修受講時間の確認も始まるなど、研究・研修会に参加する意味や価値が変わる部分もあります。しかし、本来私たち教職員の研究・研修会は、講師の話や聞いて学ぶだけでなく、事例を持ち寄り他園の先生方とも語り合い、「自園の常識、他園の非常識」という価値観の多様性の中で様々な考えや価値観に触れながら、自身の事例を振り返り、また明日からの保育に繋げていくという現場と研究・研修会との往還的な関係の中で学びが大事です。そこでは、研修を受けないといけないからという受動的な学びではなく、語り合いの中で、子どもの姿や明日の保育

が見えてくるという実感に基づく能動的な学びがあります。コロナ禍で、オンライン研修の技術が向上し、その機会も増えて、今まで対面研修では参加しづらかった先生方が参加しやすくなったことは大きなメリットです。全日の研究機構でも全国で行われているオンライン研修をオンデマンド配信し、全国で視聴できる体制作りを進めています。しかし、講師の話や視聴するオンデマンド型の研修だけでは、知識や技能の取得には繋がっても、上記のような往還的な学びには繋がりにくい側面があります。

県連も予算が削減され、運営が厳しくなっています。今年度、研修事業部・研究部もその目的や活動について、見直しを行っていきます。県連は各地区協会を補完する立場です。まずは各地区協会での研修・研究をどうしていくか、改めて各地区協会内でご確認を頂き、それを合わせて地区内だけでは困難な部分については、県連として事業実施していく、そんな新たな県連研修事業部・研究部の形を模索していきます。現在、対面研修は基本各地区協会、オンライン研修等は県連で、という形なども検討されていますが、私たち実践者の研修・研究のあり方として、各地区協会や県連でも、対面を基本とした往還的な研修・研究会も継続できるように、調整を図っていききたいと思っています。

■幼保こ小連携研修講座

県連は、神奈川県教育委員会との連携も行っていきます。今夏には、幼稚園教育課程等神奈川県研究協議会が開催され、分科会①「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」における議論等を踏まえ、幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について、分科会②「指導計画の作成、保育の展開、指導の過程の評価・改善について」というテーマで、神奈川県私立幼稚園・こども園からは、厚木緑ヶ丘幼稚園、江川幼稚園の2園に実践提案を頂きました。実践提案を行うには園内での話し合いなど、事前に相当の準備が必要だったと思いますが、そうして事例を取りまとめること、他園の先生方とディスカッションすることで、新たな気づきや学びに繋がられたことと思います。ご提案頂きました先生方、夏休み中に

も関わらずご提案を頂きありがとうございました。さて、この幼稚園教育課程等神奈川県研究協議会の議題には、この所毎年、「幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について」が入っています。文部科学省でも「幼保小の架け橋プログラム」が始まり、「幼保こ小」の連携の重要性は一層高まっています。

各地区協会、そして各園では「幼保こ小連携」の取り組みはどのようになされていますでしょうか。その取り組みは、各地区協会や各園においても温度差があり、小学校や教育委員会とどう繋がったら良いか、なかなか連携が出来ない、深まらないというお声も伺います。

私の地元である横浜では、かれこれ20年以上も前から「幼保小」としての取り組みが始まり、昨今の文部科学省の架け橋プロジェクトが始まるにあたり、そのモデル地区となりさらに充実を図ろうとしています。

ここでは、まずは小学校教員と顔を合わせて対話できる機会を設け、「架け橋プログラム@ヨコハマ」のデザインシートを用いて、幼児期の学びや育ちが、発達の連続性を意識しながら、小学校教育の前倒しではなく、子どもが主体的に遊びを通して学ぶ姿を小学校教員に伝えていく、小学校教員もそんな幼児教育のあり方を理解し、それらを土台にしながら小学校教育にどう繋げていくか、各園ごとの教育連携事業、小学校を中心として周辺の幼稚園・保育園・認定こども園が3年間子どもや教員の交流を行う推進地区事業を通して、現場同士で対話する仕組みが出来ています。

令和6年度からは、神奈川県教育委員会からの依頼で、今までは公立幼稚園・こども園のみで行っていた「幼保こ小連携研修講座」について、私立幼稚園・こども園からも実践提案を行うことが決まりました。そこでは幼稚園・こども園だけの提案ではなく、基本、連携する小学校と一緒に提案発表する形が求められます。

令和6年度はこうした発表形式であることを踏まえて、すでに連携モデルが確立している横浜協会が事例提案を行うことになりました。

令和7年度以降は、各地区協会が持ち回りで担当していき



架け橋プログラム@ヨコハマ

研修会報告

開催日	研修名	会場	講師	テーマ	参加者数
5/23(水)	新規採用教員研修会 第1回	ようちえん会館	聖徳大学大学院教職研究科教授・聖徳大学三田幼稚園園長 塩 美佐枝 先生	保育者としてのスタート—子どもたちのために—	110名
6/ 9(金)	中堅教諭対象講習会 第1回	聖母幼稚園	和泉短期大学講師・子どもの育ちのためのアートらぼ共同代表 山崎 優 先生	幼児期における造形活動の目的について	37名
6/30(金)	若手後継者のための保育勉強会 第1回	ようちえん会館	講師 駒沢女子短期大学保育科教授 猪熊 弘子 先生 コーディネーター 四季の森幼稚園園長・玉川大学教授 若月 芳浩 先生	不適切な保育の芽を摘むことの大切さ	35名
7/ 6(金)	新規採用教員研修会 第2回	ようちえん会館	保育コミュニケーション協会代表、合同会社ウメハナチャイルドケアコミュニケーションズ代表 松原 美里 氏	社会人として大切な心構え	94名
7/ 7(金)	中堅教諭対象講習会 第2回	聖母幼稚園	和泉短期大学講師・子どもの育ちのためのアートらぼ共同代表 山崎 優 先生	工作と造形について	36名
7/28(金)	キャリアアップ研修 講座A	ようちえん会館	株式会社クロスライフパートナーズ 代表取締役 雑賀 竜一 氏	リーダーシップとチームマネジメント	71名
8/ 1(火)	若手後継者のための保育勉強会 第2回	外部研修 せりりひじり 幼稚園	講師 四季の森幼稚園園長・玉川大学教授 若月 芳浩 先生	保育者の働きやすい環境と保育の質的な向上	18名
8/ 3(木)	新規採用教員研修会 第4回	ようちえん会館	文京学院大学人間学部児童発達学科教授 朴 淳香 先生	知っておきたい保育の中の安全	120名
			寒川こどもとアレルギーのクリニック 院長、元湘南鎌倉総合病院小児科部長・アレルギーセンター兼任 三宅 隆太 先生	食物アレルギー ~誤食のリスクと発生時の対応について~	122名
			社会福祉法人太陽 あしたがすき保育園園長、中部大学非常勤講師 安井 素子 先生	どんな絵本が好きですか？	121名
			NPO法人保育の安全研究・教育センター 代表理事 掛札 逸美 氏	安全のための園内コミュニケーション	121名
8/22(火)	キャリアアップ研修 講座B	ようちえん会館	駒沢女子短期大学保育科 教授、名寄市立大学 特命教授 猪熊 弘子 先生	危機管理、事故防止	68名
8/29(火)	キャリアアップ研修 講座C	オンライン研修 (ZOOM使用)	玉川大学教育学部教育学科 教授 田澤 里喜 先生	保育の質の向上に向けた園づくり	79名

第63回 神奈川県私立幼稚園教育研究全県大会 8月8日(火)ライブ配信開催



開会式で挨拶する
木元 茂 会長

来賓の県議会議長
加藤元弥 様

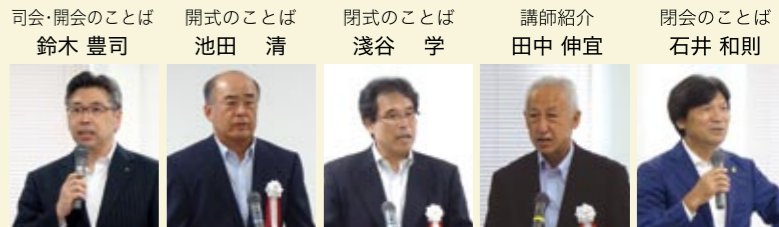
来賓の私学審議会会長
松田良昭 様



記念撮影する表彰者の皆さん



後列左から
来賓 加藤 元弥様(県議会議長)
来賓 松田 良昭様(私学審議会会長)
来賓 太田久美子様(神奈川県子どもみらい部長)
前列右から
永年表彰園 代表 聖セシリア幼稚園
原 信江先生
永年表彰者 代表 藤が丘幼稚園
吉濱美代子先生
木元 茂 会長
会長表彰 厚木田園幼稚園
小澤 俊通先生
特別表彰 代表 平和幼稚園
安西 透先生



司会・開会のことば 鈴木 豊司 開式のことば 池田 清 閉式のことば 浅谷 学 講師紹介 田中 伸宜 閉会のことば 石井 和則

の先生の明快な語り口調に、時を忘れ話しに没頭された方も多かったのではないのでしょうか。今回は、より参加し易く意義深い研修会を目指して、県連運営委員・事務局員一丸で半年かけ準備を重ねました。当日は1400名を超える皆様に価値ある時間を提供できたと自負しているところです。
(文責・総務部長 鈴木豊司)

去る8月8日(火)、第63回神奈川県私立幼稚園教育研究全県大会をライブ配信にて開催。当日は勤続40年以上の教職員方、また創立50年以上の園の永年の功績を称え表彰差し上げ、また県政・行政からも多数のお客様がお越し下さり、会場は終始和やかで華々しい雰囲気にも包まれていました。
一方の記念講演では、斬新な内容ながらも講師

研究テーマ趣旨説明 「ともに育ちあい 一人ひとりが輝ける未来を」

今後5年間、神奈川県私立幼稚園連合会が掲げる研究テーマを、このように決定しました。

■保育の今日的課題

テーマ決定にあたり、いま我々が抱える今日的な課題を3つ挙げました。

1. 多様な保育ニーズ

就労支援が優先され、保育の長時間化はさらに進んでいます。また、少子化は保育現場に色濃く影を落としています。入園前の子ども社会が消滅したことで、家庭からいきなり園生活という社会に放り込まれる子どもたち。現場の先生方は、以前よりもさらに難しい対応を迫られています。さらに、バス置き去り事故、不適切保育が大きく取り上げられたことで、安心安全への厳しい視線が注がれるようになりました。

2. 他者との共生

どの園においても特別な支援が必要な子は増加しています。さらに、価値観の多様化は、私学であっても様々な要望を抱えることにつながっています。一方、外国にルーツをもつ子ども増加しており、他文化への理解もまた必要となっています。国や自治体の制度のさらなる改善が待たれる状況ではありますが、園でも、どの子にもうれしい保育環境を模索していることでしょう。

3. 保育者の労働環境

この点については、研究研修の分野からのみならず県連及び加盟園それぞれがコンプライアンスのもと一丸となって改善していくことですので、本稿からは除きます。

■今こそ子ども主体に

私学だからと言って、園の型にはまらない子を排除してよいのでしょうか？
子どもたちは、自分たちで主体的に考えて行動します。子どもたちの気づきは、学びそのもの。主体的な保育

が実現した時、これらの課題もまた、子ども同士の関わりあいの中に解決策が見えてくるのではないのでしょうか。仏教では「自利利他」という考え方があります。一人ひとりが大切にされればその思いは他者にもつながります。自分も輝き、他者も輝く。共に生きるということは、十分に愛された一人ひとりの主体が、お互いにかかわりあったり刺激しあったりして生きること。みんなが輝く社会の基礎を、幼稚園から作っていきましょう。

■保育者は学び続ける

講師から知識を吸収するような一方通行の学びも大切ですが、保育者が保育者として成長するためには、保育者同士の語り合い・響き合いによる「育ちあい」が欠かせません。幼稚園には多様な研修機会がありますので、ぜひご活用ください。

■研修事業部・研究部の取り組み

このテーマのもと、保育者が学びやすい研修環境の構築を進め、子ども主体の保育をさらに深く追究していきます。また、「共生」の観点からAI活用の研究は、この5年間で取り組むべきことです。劇的な進化を遂げるAIは、もはや便利ツールの域を超え、様々な困難を抱える人々が自己実現するための手足となる時代が間もなく来ます。それに、小学校以降では全員にIT端末が支給される時代です。子ども主体の保育にふさわしいAI活用についても、我々が研究すべきことです。
(文責・研修事業部長 永保貴章)

教育研究全県大会 記念講演報告「脳と育児、そして教育」 池谷 裕二 氏(東京大学薬学部教授)



講師の池谷氏の専門分野は神経生理学で、日々脳の健康について探求されています。講演は「高齢は何歳から始まるか」という投げかけから始まり、中でも(子どもには)「先天的な脳があまりインストールされていない」、また「幼児の脳は大人の話聞くようにデザインされていない」という二つの意見は大変興味深かったです。最終的に話は「良い子育ては未来への貢献になる」という結論に結び付き、大変有意義なうちに終了しました。
(文責・総務部次長 野末晃秀)

8月28日開催

リーダーシップとチームマネジメント

キャリアアップ研修会報告

株式会社クロスライフパートナーズ 代表取締役 雑賀 竜一

久々の対面での研修ということもあり、雑賀先生のフランクな雰囲気での講義が始まりました。講義の内容はとても意識の高い、また社会全体で大切な意識の違いなどレベルの高い内容の講義でした。

第一章は「チーム理論」についてです。チームマネジメントをする上での基礎知識として「心理マネジメント」「行動マネジメント」「認知マネジメント」があり、チー

ムでの立場や役割の確認、その場合の責任や主体性、自由度の違い等を理解し、行動の指示は良いが、人の心理は変えることがむずかしい、チーム全体の認知の統一が大切等の説明や事例等から、一貫して心理・行動・認知でのマネジメントの違いがあることを説明して頂きました。

第二章「仕事力を高める」については、成長するための意識、その為のポイントを

理解し、成長曲線でのブレイクスルーの話や、成長の中で計画↓実施↓評価↓改善のサイクルが大切で、実施をするだけで満足している人が多く、しっかりとその行動や考え方が合っていたのかどうかの評価・改善まですることが大切だという説明を頂きました。



第三章では「コミュニケーション力を高める」について、自分自身の内面の話から、対人までの説明があり、コミュニケーションとは話すことより聞くこと、聞き方が大切等コミュニケーションの本質の話でした。また第四章では「リーダーシップマネジメント」について、ポイントや条件、またそ

令和6年度の神奈川県予算に対する要望内容

1 経常費補助金（一般補助）の充実

- ◇令和5年度の園児一人当たりの補助額は、前年度対比17,384円増額となったものの、他の都道府県に比べるとかなり低いことから、教育の質の向上、安定的な人材確保、教職員の処遇改善に向け、更なる単価の増額。
- ◇在職年数の長い教員への加算の更なる拡充（6年以上）及び第一種教員免許有資格者への加算並びに退職後に再就職した教員の職歴を通算年数として認める加算要件の拡充。
- ◇幼稚園教諭等の処遇改善の取組の継続と、幼稚園負担をゼロにするための取組。
- ◇宗教法人立や個人立の園に対する運営費補助金。

2 経常費補助金（特別補助）の充実

- ①特別支援教育費補助
 - ◇対象児1名から784,000円の補助。
 - ◇補助基準を見直し、『発達障害の疑い』の園児や『療育センターの判定書』等も可とする。
 - ◇基準日（10月1日）の増設と半年分（392,000円）の県単補助【新規】
 - ◇重度のアレルギー疾患のある園児への補助【新規】
 - ◇新制度2号こどもへの特別支援教育費補助【新規】
 - ◇市町村特別支援教育補助の市町村間の調整【新規】
- ②預かり保育推進費
 - ◇預かり保育実施園への人材確保や財政支援に係る補助金の更なる増額と預かり保育を利用するアレルギーや特別支援を必要とする子どもへの加算。
- ③地域開放推進費
 - ◇地域社会のコミュニティにおける子育て拠点となっている幼稚園への地域開放推進費の充実。
- ④緊急環境整備費
 - ◇学校法人立幼稚園への補助率（現在は3分の1）を認定こども園と同様の2分の1へ増額するとともに、速やかに告示し圧縮は行わない。
 - ◇園舎建物に付随するものや修繕にも利用できるよう事業内容を拡充・見直す。
 - ◇基準日以降に誕生日を迎える満3歳児への特別補助【新規】
 - ◇急激な物価高騰対策のための補助【新規】

3 安心・安全な保育に向けて【新規】

- ①通園バスの改修支援事業の拡充
 - ◇置き去り防止装置の購入設置に対する補助の令和6年度以降の継続。
- ②オンラインシステムの導入及びタブレット学習の推進
 - ◇オンラインによる保育の提供ができるシステム構築のための助成。
 - ◇タブレット端末の配布と専門的な教材の開発。
- ③園児の多国籍化への対応
 - ◇園児の多国籍化に対応するための通訳の手配や通訳利用サービス経費への補助。

4 人材確保及び質の向上

- ①県内各地域のニーズに対応した「就職セミナー」の開催などの人材確保支援策の継続・拡充。
- ②保育所や新制度園と同様の就労支援補助金や家賃補助等の処遇改善の推進。
- ③幼児教育の質の向上と優秀な教員の確保のために大学等との連携によるインターンシップや教員実習生受け入れ事業への助成。
- ④求人広告や派遣会社への求人対策費用に対する補助。

5 オンデマンド研修教材作成等への支援

「不適切保育」や「バス置き去り事故」等の防止のため、研修時間に左右されずに視聴できる動画コンテンツの作成への助成。

6 神奈川県私立幼稚園連合会への支援【新規】

会長・副会長に聞きました

今年度は、新企画「会長・副会長に聞きました」を全3回で連載します。連合会の会長と5人の副会長に、園の事、趣味の事、ご自身のお話しなどをお聞きします。第1回となる今回は石井和則副会長と田中伸宜副会長です。




認定こども園 はらのご原幼稚園

〒246-0025 横浜市瀬谷区阿久和西3-36-6
TEL. 045-391-0534 FAX. 045-391-0654

副会長 **石井和則**

<https://www.hara.ed.jp/>



ピンチはチャンス

みなさんこんにちは、令和4年・5年度副会長を拝命いたしました石井和則と申します。平素より当連合会の諸活動においてご支援ご協力をいただきありがとうございます。

人口の減少、少子化、母親の就労などに伴い、園児の減少が進み園経営を圧迫しております。更に新型コロナウイルス感染症により社会生活は一変し、季節性のインフルエンザ同等の5類になったとはいえ、多様な教育・保育のニーズに対して柔軟に対応していくことが求められています。また、幼児教育の質の向上、人材確保、処遇改善など大きな課題が山積です。このような状況の中、振興部担当の副会長として、行政や県会各政党への予算要望を積極的に取り組み、私学助成園、新制度園それぞれが私学の独自性を発揮し安定した園経営ができるよう働きかけていきます。

未来の子どもの幸せの為に各園の設置者・園長の皆さんと連携を図りながら積極的に事業を推し進めていきます。






綾南幼稚園

〒252-1113 神奈川県綾瀬市上土棚中1-10-6
TEL. 0467-76-0007 FAX.0467-76-0010

副会長 **田中伸宜**

<https://www.ryonan.ed.jp/>



相和と県連と共に30年！！

厚木地区私立幼稚園協会、相模原市私立幼稚園・認定こども園協会、相和私立幼稚園協会の3協会で開催される県央地区から県連の副会長として活動させていただきます。県連デビューは1992年、神奈川県新規採用教員研修会が半原野外教育センターで宿泊研修という形で開催され、相和協会から駆り出された記憶があります。その前年度に相和協会が実施した夏の宿泊研修が研修モデルとなり県連で開催されたからです。当時の県連会長は遠藤匡弘先生、研究部長は金児栄治先生。そして1996年に正式に県連研究部員としてデビューしたと思います。この長い県連での色々な先生方との出会いがあり現在の自分がいると思っています。

農家の長男として生まれ、中学時代に祖母が始めた幼稚園に父とともに携わるようになりました。現在の趣味は野菜作り。園や自宅の畑で土と戯れています。露地野菜と最近では稲作も。来年綾南幼稚園も50周年。そろそろ長男にバトンタッチをして第二の人生を歩みたいと思っています。

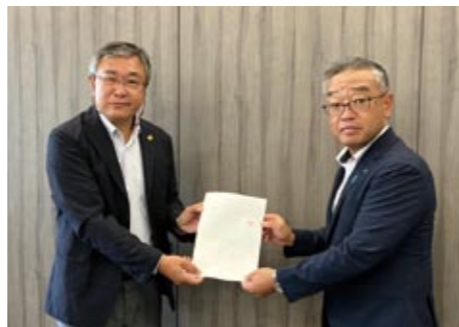



皆様方に日頃より振興部活動にご理解・ご協力賜り、感謝申し上げます。

さて、厚生労働省が5月に発表した人口動態統計(外国人含む速報値)によると、令和5年1~3月の出生数は18万2477人で、統計開始以降初めて80万人を割り込んだ令和4年の同期の19万2211人より5.1%下回りました。婚姻数も減っており、出生数を押し下げる要因となっているようです。県内においても令和4年度の出生者数は5万8118人で前年中より2431人減少しています。年々減りゆく出生数は、園運営の不安材料であります。

そんな中、4月よりこども家庭庁が発足し、総理による「異次元の少子化対策」が発表されました。これからの少子化に関する施策に、我々の意見を反映するべく振興活動にさらなるご協力をお願いいたします。

今年度の予算要望を、7月12日の自民党を皮切りに、7月13日立憲民主党・かがわクラブ、7月18日立憲民主党、7月21日かながわ未来、日本維新の会、7月



今年度の要望は新規に、特別支援教育費補助の項目で、基準日増設、アレルギー疾患児、新制度2号こどもの県単支援、市町村特別補助の連携、満3歳児入園者特別補助、物価高騰対策補助を、安心・安全な保育項目で、来年度のバス改修、オンラインシステム、多国籍園児の経費補助、人材確保及び質の向上項目で求人

対策の経費補助、項目ごと新規として、当連合会への支援を盛り込みました。

政要望望では、特別支援教育費補助、安心・安全な保育の項目で、関心を得ることが出来ました。福祉子どもみらい局への要望では、全体としては国の予算付けや他府県の動向を見て考慮との回答でした。しかし、私学助成制度審議会での議論との回答もあり、引き続き振興連盟と連携を図り、経費補助の純粋な単価増と、個別項目の新規・継続の増額を1年を通して働きかけてまいります。

(文責・振興部長 仁藤一成)

令和6年度予算要望 経常費補助金・個別項目の増額を目指して



©ビッグ錠

就職相談会・就職フェアのご報告

今年度も各協会において就職相談会・就職フェアが開催されました。学生の多様化によって就職活動も近年は変わりつつあり、一部には人材紹介や人材派遣の会社に相談・登録する方もいらっしゃるという話をお聞きします。また、学生にどのような問題や不安があるか聞いてみると、「人間関係」や「ピアノが苦手」という話をよく聞きます。ピアノが弾けないと保育者になるにあたってマイナスになるというイメージがあるようですが、実際に自身の就職先を事前訪問し、疑問点や不安な事を話しお聞きし、そして園の雰囲気を感じて面接に臨んでもらえればと願っています。

園見学や採用試験においての心構えは、一般的な会社訪問や採用試験でも同じですが、身だしなみや態度、言葉遣い等を踏まえ、面接では、わかりづらい求職者の本質や価値観、特性があったときは質問をする事で、求職者の目的や考え方、一般的に広く知られている知識などを知る事が出来るのではと思います。なお、求職者自身の保育観を知ってもらい、お聞きすることで、自身の就職への判断の1つとなるのではと思います。

求職者には未だに幼稚園への不安なイメージもあるようです。仕事が終わっていてもなかなか帰ることができない、残業やサービス残業といった負のイメージや、変則的な勤務形態を取らざるを得ない園もあるのではとお聞きすることありますが、多くの園は定時勤務体制になっていると思います。

今や園の運営形態も多様化し、幼稚園では私学助成園と施設型給付園、認定こども園では幼稚園型と幼保連携型等があり何を選択し求められるかの第1歩の出会いとして、各協会の就職相談会・就職フェアが求職者との素敵な出会いの場となることをこれからも願っています。

(文責：経営管理部長 清水満正)



法律相談

R&G横浜法律事務所
 〒220-0012
 横浜市西区みなとみらい4丁目4番2号
 横浜ブルーアベニュー2階
TEL.045-671-9654

県連窓口担当 西村将樹 弁護士

文書による保護者対応

何か問題が発生した際に幼稚園や教員に対して文書やメール等で回答することを求めてくる保護者は珍しくありませんが、文書で回答する法的義務は原則としてないと考えられるため、「文書で回答する必要はないと考えています。」と伝える等、毅然とした対応をする必要があります。

他方で、文書で回答してはならないということではありませんので、文書で回答するメリットについて考えておく必要があります。例えば電話や面談において保護者側は会話を録音しているケースが多いと思いますが、幼稚園側が同じように対応して内容を記録化しているケースはあまり多くない印象があります。文書で回答することによって「言った」「言わない」という問題を回避することが可能となりますし、要求された回答を超えて保護者に改善を求めたい事項を盛り込んだりすることで、幼稚園側の姿勢を明確にする機会として利用することが可能となりますので、文書の適切な利用もご検討ください。

教育相談

相談の申し込み
 電話・ホームページから事務局へ
 申し込みください。
TEL.045-440-3210
http://www.shinshiyou.com

教育相談員 鈴木敦子 先生 (臨床発達心理士)

一人担任ではムリ、ムリ！ 対応の難しい子に加配の保育者をつけるのは必然でしょうか？

先日伺った幼稚園の年中クラスでは頻りに園庭に飛び出し遊具のてっぺんに登る子がいて、副担任との追っかけっこになっていました。こういった光景を見ると安全性の面からも一人担任では無理があり、加配の保育者の必要性を感じます。ただしゆくゆくは一人担任でも十分できます。飛び出しはパニックです。パニックになってしまったら加配の先生に以下の指示を主導権のある担任が出してください。パニックの子どもに決して近づかず、先生が両手を広げたくらいの距離は取ってください。また視線は圧力がかかるので目は見ません。話しかけは情報過多です。つまりこの場合では遊具の後方から無言で優しく見守ります。こうするとおそらく数分で降りてきます。この指示を担任から出して欲しいですが、若い保育者はベテラン先生に言いにくいでしょう。ここは園長先生、頑張ってください。(クラスをその子にとってより居心地の良い空間にするとパニックは落ち着きます。詳細は鈴木まで)

令和5年度 神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 委員総会 開催報告



神奈川県私立幼稚園父母の会連合会の委員総会が6月29日(日)にようちえん会館会議室にて行われました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行され、4年ぶりの対面開催でした。

会長就任のご挨拶

神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 会長 寺尾康子

神奈川県私立幼稚園の先生方、事務局の皆様、日頃より温かいご支援賜りまして誠にありがとうございます。また父母の会の皆さまにおかれましては、日々ご協力いただきまして誠にありがとうございます。日々の子育てに誠にお疲れ様でございます。令和5年度神奈川県私立幼稚園父母の会連合会の会長を務めさせていただきます。川崎のみゆき幼稚園の寺尾康子と申します。子どもが幼稚園に入園するまで、私の中で神奈川県は出生率が高く、親子・家族連れが多い印象でした。しかし近年少子化が加速し、それに伴い学校や園で閉園が危ぶまれているのが現状です。

私の出身校も合併や閉校となったとき、青春の思い出を消されたような喪失感を覚えました。明日を担う子どもたちにはそうした喪失感が苛まれぬよう、単立ついていた学校や園には末永く伝統を受け継いでいていただきたいという思いから、本年度も常任委員会委員に立候補させていただきました。そして本年度は全日本私立幼稚園PTAの常任委員として、こども家庭庁のこども審議会議の分科会委員も務めさせていただきますこととなりました。こども未来戦

決算書報告、監査報告、令和5年度事業計画案、収支予算案が全会一致で承認されました。また、令和5年度の役員選出が行われ委員総会にて選出された常任委員並びに監事によって常任委員会を開催し、その席にお

略方針にともない様々な議論がなされております。保護者という立場でさらに一層子育てしやすい環境になりますよう、たくさん意見させていただきます。

本年度はコロナ禍でご出産されたお子様が入園いただいているのではないのでしょうか。立ち会い出産ができないなどの様々な制限があった中、皆さまよく乗りこえてこられたと思います。ただでさえ育児中は産前のように友人との息抜きができる時間がなくなるのにもかわらず、家族や友人とのコミュニケーションも制限されたなかで、お子様と向き合っている育児に奮闘されていた姿を想像すると胸が熱くなります。近年目紛しく変わる育児環境の中、お子様に真摯に向き合ってきた親御様がこれからもご家族との時間がさらに幸せでありますよう、神奈川県のお子様を心身ともに健やかに成長させますように、幼児教育のさらなる安全や補償充実・保護者負担の軽減につきまして、もっと説得力のある提案ができればと考えております。

令和5年度父母の会連合会常任委員名簿

役職	氏名	園名	(協会)
会長	寺尾康子	みゆき幼稚園	(川崎)
副会長	石崎久美	玉縄幼稚園	(鎌倉)
副会長	矢澤孝雄	初山幼稚園	(川崎)
会計	樽本万里子	ばらの幼稚園	(横浜)
会計	吉田有加	認定こども園しのはら幼稚園	(横浜)
委員	大塚理香	スマレ幼稚園	(相和)
委員	加藤文恵	恵泉幼稚園	(茅ヶ崎)
監事	田中千鶴	善隣館幼稚園	(横浜)

令和5年度 神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 研修大会
 場所 神奈川県立音楽堂(予定)
 日時 11月14日(火) 10時00分開会
 講師 未定



ともご意見いただけましたら幸いです。精一杯頑張りますので、引き続きご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願ひ申し上げます。

最後は、木元県連会長より父母の会の活動をしていただいた令和4年度常任委員の方々に感謝状と記念品が贈答されました。

見にも忠実に進めていけたらと考えております。様々な場面で意見させていただく機会が増えると思っております。是非ともみなさまにも研修大会のご参加やYouTube配信などを確認いただきまして、もっとこうしたら育児しやす

園児の床
床メンテナンス・換装に対応

価格と品質に自信あり!
メーカー直結施工だから
中間マージン **¥0**
ご予算を最大限に活用頂けます

ワックスがけの負担を0に
園児の床
床メンテナンス・換装に対応

さまざまな床材に対応。仕上がりのつや感も選べます

お問合せ・無料現地調査 (お見積り)はこちら

ecotec
株式会社エコテック

0120-963-093
〒222-0033
神奈川県横浜市港北区新横浜2-17-2 ファンターナビル7F

一斉通話でらくらく共有/
IP無線機 伝シリーズ
— ニシハタシステム —

業務改善で
1,700園以上が導入!

園業務のお悩みを
IP無線機
で解決します!

無料で1週間お試しいただけます!

株式会社 **ニシハタシステム**
お問合せ 0120-775-956

サイトはこちら!

送迎バスは、旅客輸送のプロ、臨港バスグループにお任せ下さい。

手間のかかる自家用自動車の管理を承ります。
お客様は、送迎バスなどのクルマをご用意いただくだけ。
あとは当社にお任せください。

京急グループ/臨港バスグループ
臨港コミュニティ株式会社
〒210-0818 川崎市川崎区中瀬3丁目21番6号 TEL 044-280-3311

お客様の数だけ、安心の形がある。

ネエチアは、創業当初より50年間培ってきた豊富な納入実績とノウハウがあります。
大規模施設から小規模施設まで、セキュリティ分野で長年蓄積したノウハウと、最新のテクノロジーに対応した技術力をもって最適なセキュリティシステムを実現します。

株式会社 **ネエチア**
神奈川県横浜市大上1-7-38
TEL:0467-77-2222
https://www.e-nature.co.jp

祝 **Pride of KANAGAWA**

瑞宝双光章
今年も嬉しいお知らせがありました。
心よりお祝い申し上げます。

学校法人平塚学園 松風幼稚園
園長 **大澤 一之** 先生

瑞宝双光章
国および地方公共団体の公務又は公共に対し、長年にわたり従事し功労を積み重ね、成績を挙げた方に贈られる。

令和5年度神奈川県県民功労者表彰
令和5年6月16日に神奈川県庁本庁舎大会議場において令和5年度神奈川県県民功労者表彰の表彰式が行われました。
心よりお祝い申し上げます。

学校法人丸山学園 丸山幼稚園
理事長・園長 **伊藤 夏夫** 先生

学校法人柏木学園 都筑ヶ丘幼稚園
理事長・園長 **柏木 照正** 先生

神奈川県県民功労者表彰
公共の福祉に貢献し、その業績が特に優れた方々を顕彰する神奈川県の高齢表彰のひとつ。今回76回目となり、「社会福祉」「保健衛生」「産業・経済」「教育・文化」「生活環境」の各分野で活躍された41名が受賞。

Welcome **新規加盟園情報**

公益社団法人横浜市幼稚園協会
学校法人まこと学園
まこと幼稚園
〒246-0022
神奈川県横浜市瀬谷区三ツ境65
TEL 045-391-2175
FAX 045-366-7005
【設置者・代表者】大岡正樹
【園長】松本雄一郎
【創立年月日】昭和28(1953)年11月16日
【ホームページ】https://www.makotoyouchien.com/

NEW **新規賛助会員**

グランコーヨー株式会社
取扱：保育教材・絵本・遊具等の販売、人財定着支援
〒240-0036 横浜市保土ヶ谷区新桜ヶ丘2-24-25 Tel. 045-351-5411

株式会社テレコム
取扱：置き去り防止装置、各種通信システムの販売・保守サービス
〒224-0051 横浜市都筑区富士見が丘15-6 テレコム港北ビル Tel. 0120-619-299

賛助会員を広く募集します
加盟園の皆様からのご紹介をお待ちしています。
ぜひ県連事務局へご連絡下さい。